



PMC
matchday program



2019
9.1(sun)

VOL.02 第43回 総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント 2回戦

真の大学日本一へ



©JUFA

ゴミは各自で
お持ち帰りください。

総理大臣杯の1回戦から準々決勝は
無料で観戦できます！



発行：関西学生サッカー連盟
TEL 06-6268-6400
WEB <http://www.jufa-kansai.jp/>

Match Preview

試合の見どころ

J-GREEN堺・S2フィールド	11:00 KICKOFF	Reported by 西井遼(読売新聞社運動部)
中京大学	VS	順天堂大学

中京大学は、劇的な逆転勝ちで1回戦を突破した勢いを持続できるか。永富裕也監督は「強い相手だが、次も焦らずじっくり戦う」とチームの粘りに期待を寄せる。

順天堂大学は、今夏のユニバーシアード大会で優勝した日本代表でも「10番」を背負ったFW10、旗手怜央(4年)ら攻撃陣にタレントがそろそろ。一昨年は初戦で敗れ、昨年は大会出場権を逃した。チームの巻き返しへの思いは強く、堀池巧監督は「悔しい気持ちをバネに成長してきたところを見せたい」と力を込める。

J-GREEN堺・S2フィールド	13:30 KICKOFF	Reported by 西井遼(読売新聞社運動部)
明治大学	VS	仙台大学

前回覇者の明治大学は過去4年で優勝2度、準優勝2度と実績面で群を抜く。今季の関東1部リーグでも首位を快走しており、大会連覇を視界に捉える。栗田大輔監督も「経験値を生かしたい。勝ち上がり方にもこだわっていく」と力強い。

仙台大学は1回戦で4得点を挙げた攻撃陣が好調だ。なかでも左サイドを担うMF10、松尾佑介(4年)は独特のステップから好機を創出するスピードスター。「緩急で崩したい」と明治大学の堅守に挑む。

J-GREEN堺・S5フィールド	11:00 KICKOFF	Reported by 学連幹事
法政大学	VS	静岡産業大学

天皇杯でJリーグ勢を撃破し4回戦進出を決めている法政大学は、一番優勝に近いチームとも言える。長山一也監督は「一番調子が良いチームだと思う」と話す。昨年2回戦敗退の悔しさを晴らし上位進出となるか、初戦の戦いに注目だ。

静岡産業大学は「良いゲームにはなったが攻撃も今のままではだめだと思う」と2回戦に向けて気を引き締め、「チームとして今年ベスト8を目指すことが最大のテーマ、インカレはベスト16で終わったのでその壁を乗り越える」と加藤知弘監督。大学で今一番勢いのある法政大学を向かえる。

J-GREEN堺・S5フィールド	13:30 KICKOFF	Reported by 学連幹事
鹿屋体育大学	VS	びわこ成蹊スポーツ大学

鹿屋体育大学・塩川勝行監督は「前半は相手の勢いにのまれて選手自身が戦えていなかった」と1回戦の反省を口にした。「失点しないように守備をしっかりと2日間立て直す」と話し、びわこ成蹊スポーツ大学との一戦に臨む。

関西学生前期リーグを2位で折り返し、関西学生選手権で初優勝したびわこ成蹊スポーツ大学の望月聡監督は「ダークホースとして優勝を狙う」と3年ぶりとなるこの舞台での躍動を誓い、「11人全員がハードワークし、粘り強く最後の最後まで戦う」と意気込む。

関西学生サッカー連盟公式SNS

- ①試合前日には、公式facebookにて試合の見どころをご紹介します！！
 - ②試合当日には、公式Twitterにて全会場の前半スコア&試合終了時スコアを投稿！！
- ※当日のメンバー表&公式記録は公式facebookにて投稿します。
- ③試合後の詳しい結果を公式facebookにて投稿！！

各公式サイトへはQRコードより読み取り、アクセスしていただけます。
大会情報盛りだくさんの関西学生サッカー連盟公式SNSをぜひご活用ください！

SNSアカウント一覧

facebook



Twitter



関西学生サッカーに専用スタジアムを!!

関西学生サッカーの聖地づくりを目標に“未来・夢倶楽部会員”を募集しています！ 終身会費30,000円で、いつでも入会可能！

※未来夢倶楽部は当連盟主催・主管の全ての大会に無料で入場可能です。

入会案内は入場ゲート・受付にご用意しています！



関西学生サッカー未来・夢倶楽部
会員募集中！！



夢実現はわたしたちの合言葉



Match Preview

試合の見どころ

三木総合防災公園第1球技場	11:00 KICKOFF	Reported by 学連幹事
関西大学	VS	拓殖大学

2年ぶり18回目の出場となる関西大学・前田雅文監督はキープレイヤーとして今季主将を務めるMF10、牧野寛太(4年)を挙げている。チームスローガンの「全員サッカーで日本一」を達成するためには牧野のアシスト、得点がキーとなるだろう。

関東2部に所属する拓殖大学・玉井朗監督は「失点しがちで2点ほど危ないシーンはあったが無失点に抑えられたのが良かった」と1回戦の北海学園大学との一戦を振り返った。「大量得点したあとの試合はうまくいかないことが多い。そういうことがないように頭の中をしっかりと整理していきたい」と関西大学を破りベスト8を目指す。

三木総合防災公園第1球技場	13:30 KICKOFF	Reported by 学連幹事
福岡大学	VS	駒澤大学

福岡大学・乾真寛監督はPK戦となった1回戦終了後、「中断後の水が含んだピッチに苦戦はしたが、最後はGK21、真木晃平(3年)がPKを得意とするのでやってくれると思っていた」と真木を評価した。「高さ、強さを活かしたフィジカル対決を楽しみにしていた」と駒澤大学との一戦を向かえる。

関東第3代表の駒澤大学、深井正樹コーチは「上位を目指して頑張っていきたい」と目の前の一戦一戦に照準を合わせている様子。キープレイヤーのFW11、森本ヒマン(3年)の得点力から目が離せない。

三木総合防災公園第2球技場	11:00 KICKOFF	Reported by 荒木茂(関西学連)
大阪体育大学	VS	筑波大学

筑波大学は一昨年の準々決勝で大阪体育大学に勝利。今年もMF7、三笠薫(4年)ら、ユニバーシアードの優勝メンバー6人を擁し、小井土正亮監督は「これで負けたら監督の責任」と冗談交じりに、「選手の力を信じている」と話す。

1回戦勝利の大阪体育大学は雪辱に燃えている。関東勢を倒しての全国制覇が目標だが、松尾元太監督は「胸を借りるつもりで対戦したい」と謙虚だ。地元・関西の意地が関東の伝統校にどこまで通用するか。

三木総合防災公園第2球技場	13:30 KICKOFF	Reported by 荒木茂(関西学連)
立正大学	VS	東海学園大学

全国大会初出場ながら、関東第2代表でリーグ戦も2位で折り返し、破竹の勢いの立正大学。「怖さを知らないからこそだが、目標は日本一」という杉田守監督。「個人技があり、ボール扱いがうまい」と東海学園大学を警戒し、「ボールを奪い、勝機を見出したい」と話す。

東海学園大学・安原成泰監督は「相手は強豪だが、やることは変わらない」と淡々。初戦終盤のパフォーマンスが試合を通じて発揮できれば、好試合になるだろう。

テレビ放送のご案内

放送局	放送日	放送時間
読売テレビ	9月8日(日)	25:47~ 関西ローカル
あすリートチャンネル	9月7日(土)	18:00~ 決勝・LIVE配信
	9月5日(木)	15:30~・18:00~ 準決勝・LIVE配信



※放送時間は変更になる可能性があります。大会プログラムP7にも掲載しています。

Match Review Result & Report

Reported by 西井遼(読売新聞社運動部)

IPU・環太平洋大学

vs

仙台大学

2019年8月29日(木) 15:34キックオフ
会場/ヤンマースタジアム長居 天候/曇 入場者数/506人

仙台大学が打ち合いを制した。試合を通じ、チームの攻撃を牽引したのがMF10、松尾佑介(4年)。前線の左サイドで先発し、得意のドリブル突破で何度も相手守備に風穴をあけてみせた。15分のDF3、井上友也(4年)による先制シーンも、松尾が左サイド深くをえぐって相手の守備陣形を崩したことで生まれた。1点リードの終了間際には中央に走ってパスを呼び込むと、巧みなボールタッチからFW11、岩淵弘人(4年)のダメ押しゴールをアシスト。松尾は「相手の隙を狙い続け、決定的な仕事ができたと胸を張った。もう一つ、接戦で勝敗を分けるカギになったのがMF27、鯉田太陽(2年)の正確なプレースキックだ。32分、左CKをDF5、本吉佑多(4年)の頭に合わせてチームの2点目を導くと、2-2に追いつかれた直後の77分には右CKから勝ち越し点を演出。1試合のうちに左右のCKからそれぞれアシストをマークする離れ業をやった。」「右足のキック精度に自信を持っている」という鯉田は「昼間の暑いなか、互いに最後まで走りきれるとは限らない。セットプレーがいつも以上に大事になると思っていた」としたり顔。多彩なゴールパターンを繰り出し、2回戦に駒を進めた。

IPU・環太平洋大学	2	1-2 1-2	4	仙台大学
39分 10 赤木 直人		得点 (アシスト)		15分 3 井上 友也(9 磯口 颯太)
72分 3 里出 怜央(10 赤木 直人)				32分 5 本吉 佑多(27 鯉田 太陽)
				77分 4 藤岡 優也(27 鯉田 太陽)
				89分 11 岩淵 弘人(10 松尾 佑介)



Reported by 西井遼(読売新聞社運動部)

大阪経済大学

vs

中京大学

2019年8月29日(木) 18:00キックオフ
会場/ヤンマースタジアム長居 天候/曇 入場者数/668人

中京大学が劇的な逆転勝利で初戦を突破した。流れを変えたのは、84分に投入された1年生、DF24の水口湧斗だ。永富裕也監督に前日から「(追いかける展開で)パワープレーを求める途中投入があるかもしれない」と伝えられていたといい、心身ともに準備は万端だった。DFながら、味方がボールを保持すると一気にゴール前へ駆け込んだ。「高校の頃から得意にしてきた形。なんとかまずは1点、と思っていた」。繰り返し前線に顔を出すと、89分、ゴール前左で粘ったFW9、西口黎央(4年)が中央に送った浮き球に頭で合わせ、ネットを揺らした。序盤から相手GKの好セーブが続き、敗色濃厚だったチームを1年生が救うと、最後は先輩らが奮い立った。95分、FW10、東家聡樹(4年)からハーフラインを過ぎた辺りでパスを受けたMF7、加藤弘也(3年)が一気にドリブルで仕掛けた。その20分ほど前から足が何度もつりかかっていたが、「気力で走っていると、ゴールできるシュートのイメージが湧いた」と加藤は言う。ペナルティーエリア右手前から放ったミドルシュートは、カーブを描いてゴール右隅に吸い込まれた。「まさかあの展開から逆転してくれるとは」と永富監督。勢いに乗り、強豪・順天堂大学に挑む。

大阪経済大学	1	0-0 1-2	2	中京大学
62分 9 梶村 晋紀		得点 (アシスト)		89分 24 水口 湧斗(9 西口 黎央)
				90+5分 7 加藤 弘也(10 東家 聡樹)



Match Review Result & Report

Reported by 荒木茂(関西学連)

日本文理大学

vs

東海学園大学

大会初勝利を挙げた昨年以上の成績を目指す日本文理大学。東海学園大学は3年連続で初戦を突破しているが、安原成泰監督は「トーナメントの戦い方は難しい」と慎重だった。試合も序盤は勢い込む日本文理大学が攻勢。前半3分、右CKからFW10、濱上征也(4年)がニアに飛び込み頭に合わせたが惜しくも外れる。20分前後からは一転、東海学園大学がボールを保持し主導権を握る。19分にはDF28、加藤大貴(4年)の右クロスにFW11、榎本啓吾(2年)がDFの前に走り込んだが枠を捉えきれず、0-0で折り返した。

後半も立ち上がりは日本文理大学ペース。53分、カウンターから濱上のパスを受けたMF7、舛田勇士郎(4年)の左足シュートは惜しくも右へ。試合が動いたのは80分。東海学園大学は右サイドでFW19、西澤利樹(4年)、MF8、澤朋哉(4年)のパス回しから、MF31、野中魁(3年)のヘディングがゴール右隅に決まった。86分にはDFからボールを奪ったMF10、神谷椋士(4年)のアシストでMF4、白川大吾郎(3年)が2点目。90+4分にもDFの加藤がダメ押し点を奪い、終盤に地力を発揮した東海学園大学が3-0で勝利をつかんだ。前後半とも序盤の得点機を逃した日本文理大学。西野晃平監督は「そこで決めきれなかったのが、この試合のすべてでした」と振り返った。

2019年8月29日(木) 15:33キックオフ
会場/ヤンマーフィールド長居 天候/晴 入場者数/385人

日本文理大学	0	0-0 0-3	3	東海学園大学
		得点 (アシスト)	80分 31 野中 魁(8 澤 朋哉) 86分 4 白川 大吾郎(10 神谷 椋士) 90+4分 28 加藤 大貴(14 児玉 駿斗)	



Reported by 荒木茂(関西学連)

大阪体育大学

vs

北海道教育大学岩見沢校

前後半とも終了間際に得点した大阪体育大学が2-0で逃げ切った。前半はMF28、河合悠人(1年)の初シュートなどもあって北海道教育大学岩見沢校が善戦。大阪体育大学は攻め上がって、度々チャンスをつかむもののなかなか決定機が訪れない。DF15、大崎航詩(3年)のCK、FKもゴールにはつながらなかった。ようやく45+1分、中央でMF19、野寄和哉(1年)のパスを受けたMF27、瀬尾純基(2年)の右足シュートが決まり、先制した。

大阪体育大学のペースは後半も変わらない。61分には中央でMF7、西田恵(4年)が野寄へ絶妙のスルーパス。しかし、シュートはGK1、鴨川寛也(1年)に阻まれ追加点はならなかった。試合終了間際の90+3分、FW11、安原修平(3年)のヘディングシュートからの混戦で、FW24、高橋一輝(2年)が押し込んで2点目を奪い逃げ切った。後半の北海道教育大学岩見沢校はMF8、遠藤祐馬(4年)がFW7、山崎将平(4年)らを使って攻撃を組み立てるが、シュートまで持ち込めない。山崎やFW25、橋本恭佑(2年)らがターゲットの縦パスもなかなか通らなかった。「攻めしか考えていなかった」という北海道教育大学岩見沢校・越山賢一監督は「崩されて失点したわけではなく、主力が教育実習で不在の中よくやった」と選手たちをねぎらった。

2019年8月29日(木) 18:00キックオフ
会場/ヤンマーフィールド長居 天候/曇 入場者数/262人

大阪体育大学	2	1-0 1-0	0	北海道教育大学岩見沢校
		得点 (アシスト)	45+1分 27 瀬尾 純基(19 野寄 和哉) 90+3分 24 高橋 一輝	



Match Review Result & Report

Reported by 学連幹事

福岡大学

vs

新潟医療福祉大学

2019年8月29日(月) 15:30キックオフ
会場/神戸総合運動公園ユニバー記念競技場 天候/晴 入場者数/258人

3年連続出場の福岡大学と2年連続出場の新潟医療福祉大学。福岡大学はFW10、梅田魁人(4年)をターゲットにロングボールを送り攻撃を仕掛ける。対する、新潟医療福祉大学は後ろから丁寧にボールを繋ぎビルドアップするという展開が続くが、両者ともに得点にはならない。だが、40分に交代で出場したFW9、梅木翼(3年)がMF6、河原創(4年)からのパスを右足で決め、福岡大が1点をリードして折り返す。後半に入って6分、雷が鳴り始め30分ほど試合が中断。再開後は、新潟医療福祉大学がボールを保持する時間が長く、様々なアイデアで相手守備陣を崩しチャンスを作る。福岡大学もフィジカル、球際で相手を翻弄する。試合が動いたのは75分。新潟医療福祉大学のMF6、松本雄真(2年)がクリアボールを繋ぎ、FW11、佐々木快(3年)のシュートで同点に持ち込んだ。延長戦に入り福岡大学は3トップに変更。攻撃力を高めるも得点には至らず。試合は結局PK戦となり、全員が決めた福岡大学が2回戦進出を決めた。

福岡大学		0	1-0 0-1 0-0 0-0 5PK3	0	新潟医療福祉大学
40分 9	梅木 翼(6 河原 創)		得点 (アシスト)	75分 11	佐々木 快(6 松本 雄真)



Reported by 学連幹事

北海学園大学

vs

拓殖大学

2019年8月29日(木) 19:05キックオフ
会場/神戸総合運動公園ユニバー記念競技場 天候/曇 入場者数/110人

北海道第2代表の北海学園大学と関東大学サッカーリーグ2部ながら出場を決めた拓殖大学の一戦。この試合、波に乗ったのは拓殖大学。試合開始5分にMF8、奥村晃司(3年)が右足で決めると、11分にはFW9、長尾吉家(4年)が決める。その後もゴールラッシュが止まらない。13分、14分、44分とMF7、池田廉(4年)がハットトリックを決めると、長尾も2点目を決めて前半だけで計8得点。対する北海学園大学は、ファーストディフェンダーのアプローチが緩く、ボールホルダーとの距離が遠く、相手に自由にさせてしまう時間が多く、左サイドMF20、河原晶太(1年)のロングスローからの展開が数少ないチャンスであった。後半に入ると、北海学園大学がビルドアップにトライし、MF10、東川航大(3年)がタイミングを計ったスルーパスでチャンスを作れる場面も出てくる。だが、拓殖大学DF3、今井那生(4年)が対人の強さを発揮してチャンスを作らせない。拓殖大学はメンバーチェンジや得点差が開いた事もあってか、関わる人数が減り精度を欠く。だが、決定機は逃さず、64分にはFW28、加賀美右京(2年)が74分、79分にFW26、田中幸大(2年)が2点の追加点を決め、11-0の快勝となった。

北海学園大学	0	0-8 0-3	11	拓殖大学
				5分 8 奥村 晃司(11 増田 力也)
				11分 9 長尾 吉家(2 室口 拓)
				13分 7 池田 廉(11 増田 力也)
				14分 7 池田 廉(11 増田 力也)
				25分 10 小宮 徹(11 増田 力也)
				28分 11 増田 力也
	得点			(7 池田 廉・10 小宮 徹)
(アシスト)				35分 9 長尾 吉家(10 小宮 徹)
				44分 7 池田 廉(10 小宮 徹)
				64分 28 加賀美 右京(4 西山 大輝)
				74分 26 田中 幸大(10 小宮 徹)
				79分 26 田中 幸大(2 室口 拓)



Match Review Result & Report

Reported by 学連幹事

鹿屋体育大学

vs

四国学院大学

2019年8月29日(木) 15:34キックオフ
会場/たけひしスタジアム京都 天候/晴 入場者数/434人

天皇杯でJクラブを倒した鹿屋体育大学と初出場で勝利を目指す四国学院大学の一戦。3-2-4-1で流動的なパスサッカーで戦う鹿屋体育大学に対し、4-4-2でブロックを敷きカウンターからの一発を狙う四国学院大学。初戦とあって両チーム堅い入りとなった。拮抗した試合のなか38分、試合を動かしたのは四国学院大学。右からのクロスにFW11、久保田蓮(3年)が右足を振りぬぎ、先制。待望の総理大臣杯初ゴールをあげた。後半、3人の選手交代を行った、鹿屋体育大学は積極的に前へ。52分MF10、藤本一輝(3年)がGKとの一対一を沈め同点に追いつくと、57分MF23、山口卓己(1年)が左足で決め突き放す。何としてでも追いつきたい四国学院大学だがなかなか推進力が保てず。試合終了間際に交代で入った鹿屋体育大学FW16、根本凌(2年)が決め、3対1で勝利をおさめた。次戦、鹿屋体育大学は関西第一代表びわこ成蹊スポーツ大学と戦う。中2日でむかえる一戦に向け、塩川勝行監督は「守備を立て直す」と語り、ベスト8進出を目論む。

鹿屋体育大学	3	0-1 3-0	1	四国学院大学
52分 10 藤本一輝(16 根本凌)		得点 (アシスト)		38分 11 久保田蓮(29 祝佳史)
57分 23 山口卓己(10 藤本一輝)				
90+5分 16 根本凌(29 比嘉将貴)				



Reported by 学連幹事

高知大学

vs

静岡産業大学

2019年8月29日(木) 18:00キックオフ
会場/たけひしスタジアム京都 天候/曇 入場者数/358人

全員が一般入試で入ってきた高知大学に対し、10年ぶりの出場となる静岡産業大学。両チーム粘り強い守備で90分では決着はつかず、延長戦までもつれ込んだ。前半から連動した守備とテンポの速いパス回しで試合を支配する静岡産業大学。FW9、山本榛真(3年)、FW11、栗田マーク(4年)を中心にゴールに迫る。対する高知大学はピッチをワイドに使い、局面を変えるサイドチェンジで攻勢をかけたいが、思うようにさせてもらえず。終始ペースを握り前後半合わせて20本のシュートを放った静岡産業大学の攻撃に、高知大学GK21、森下尚人(3年)を中心とした守備陣が身を挺してのブロックで幾度となくピンチからゴールを守った。試合後、静岡産業大学・加藤弘弘監督が「体を張ることや勝ちに来る姿勢といった、当たり前のことが出来ていてグッと来た」と称えたように高知大学が守り抜き、試合は延長へ。高知大学に疲れが見られた延長前半2分、静岡産業大学がCKを途中交代で入ったFW18、早川諒佑(2年)が押し込み、これが決勝点となった。次戦、法政大学との一戦に向け、「勝ちにいく」と語った加藤監督。チームが掲げるベスト8に向け虎視眈々と勝利を目指す。

高知大学	0	0-0 0-0 0-1 0-0	1	静岡産業大学
		得点 (アシスト)		92分 18 早川諒佑(13 武藤英輝)



Official Goods

第43回 総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント グッズ販売！

●ユニフォーム型ストラップ

販売価格 500円

全24チーム分販売！
売り切れ御免！



●記念タオル

販売価格 700円



トートバッグや
シューズケースも
販売中！

●公式プログラム

販売価格 1000円



販売は各会場入場ゲートにて。
ご来場の記念にぜひお買い求めください！

第43回 総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント 広報企画！

チームメイト・両親・恩師などスタンドで
共に戦い、応援をくれる人へ選手やチーム
スタッフがメッセージを送っています！
Googleフォトより閲覧できるので是非ご覧
ください！



ゲート板に各チームの
QRコードが貼ってあります。
是非ご覧ください！！

第43回 総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント 勝敗予想企画！

試合観戦で素敵な商品をGETしよう！！
・勝敗予想企画でマダム商品が当たる！



■勝敗予想

応援するチームの勝利を予想して
景品を当てよう！
試合開始前に勝敗予想用紙を
勝敗予想BOXに入れてね！



TICKET

お買い求めについて

チケットぴあにて販売中！ (準決勝より有料)

チケットぴあ

(Pコード 675-826)

	前売り	当日
大人	¥800	¥1,000
中高生	¥300	¥400

※試合会場でもお買い求めいただけます。お買い求めは入場ゲート横物販コーナーにて。



禁煙

禁煙・ゴミの持ち帰りに
ご協力お願いします。



好プレーに

CLAP

関西学生サッカーファンクラブのご案内

関西学生サッカーを盛り上げるため、選手たちを熱くサポートしよう！

◎会員特典

- ① 関西学連主催・主管大会の入場無料。
- ② 関西学連主催・主管大会のプログラム・チケットの送付。
- ③ ファンクラブニュース、年10回程度発行。

【お申込み】

下記の宛先に顔写真(2×3cm)2枚と年会費(4000円)、「氏名・住所・電話番号・生年月日・年齢・職業・応援している大学・選手」をご記入の用紙を同封し、現金書留にてお申込み下さい。

〒541-0059 大阪市中央区博労町1-4-10 博労町エースビル601

関西学生サッカー連盟「ファンクラブ入会」係 まで

